

第1学年道徳科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日 (〇) 〇校時

場 所 1年〇組教室

授業者 〇 〇 〇 〇

1 主題名 やくそくやきまり 「C-(10)規則の尊重」

2 ねらいと教材

(1) ねらい

身近な約束やきまりは、みんなが安心して過ごすためにあることを理解し、しっかり守ろうとする道徳的実践意欲と態度を育てる。

(2) 教材名

「よりみち」(東京書籍 新しい道徳1)

3 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容についての教師の捉え方

本主題は、小学校学習指導要領特別の教科道徳、内容項目C-(10)「規則の尊重」の「約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること」を受けている。

児童が成長することは、同時に所属する集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身に付けていくことでもある。社会の法やきまりの持つ意義について考えることを通して、法やきまりが、個人や集団が安全にかつ安心して生活できるようにするためにあることを理解し、それを進んで守ろうとする意欲や態度を育てることが大切である。

低学年の段階においては、まだ自己中心性が強く、ともすると周囲への配慮を欠いて自分勝手な行動をとることも少なくない。

そこで、身近な約束やきまりを取り上げ、約束やきまりはみんなが安心して過ごすためにあることに気付かせることで、しっかりと守ろうとする意欲と態度を育てることが大切だと考え、本主題を設定した。

(2) 児童のこれまでの学習状況や実態

学校生活にも慣れ、学校の約束やきまりを守ろうとする児童は多いが、なぜ守らなくてはいけないのかまで考えて守っている児童は少ない。そこで、「がっこうにはね」の授業で学習した、自分が多くの人に守られて生活していることを想起させ、自分だけではなく周りの人の思いにも気付かせながら、なぜ約束やきまりを守ることが大切なのか考えさせたい。そして、約束やきまりはみんなが安心して過ごすためにあることを理解した上で、しっかり守ろうとする道徳的実践意欲と態度を育てたい。さらに、「いのちがあってよかった」の授業で扱うで「自分の生命に対して愛情をもって育ててきた家族の思いに気付くこと」につなげていきたい。

(3) 使用する教材の特質

本教材は、友達に誘われて寄り道をしてしまった「わたし」が、探しに来た先生とお母さんの顔を見て、自分の取った行動について考える話である。

「わたし」は学校からの帰り道、友達のまりちゃんが子犬をもらったという話を聞き、早く子犬を見たかった「わたし」は、まりちゃんの家寄り道してしまう。遅い時間になってしまい、急いで帰っているときに「わたし」を探しに来た先生とお母さんと会う。先生は「わたし」をだっこし、お母さんの目には涙がたくさん浮かんでいた。

自分を探しに来た先生とお母さんの様子を見た「わたし」の姿から、約束やきまりを守れないことがある現状や、約束やきまりは自分だけではなく、みんなが安心して過ごすためにあることについて気付かせることができる教材である。

(4) 指導観

低学年の段階では、物語の主人公と自分を切り離して考え、強い正義感の基、「約束やきまりは守らなくてはいけない」と思う児童が多いと考えられる。

そこで本時の指導に当たっては、導入場面で、日常生活にどんなきまりがあるのかを出させ、きまりを守れなかったときのことを想起させることによって、本時の課題を自分事として捉え、問題意識を持たせるようにする。展開場面では、先生とお母さんの気持ちを考えさせることで、自分と周りとの関係を意識させる。さらに、涙目のお母さんの絵を見ながら「わたし」の気持ちを考えさせることで、主人公と自分を重ね、きまりはみんなが安心して過ごすためにあることについて自分事として考えさせたい。

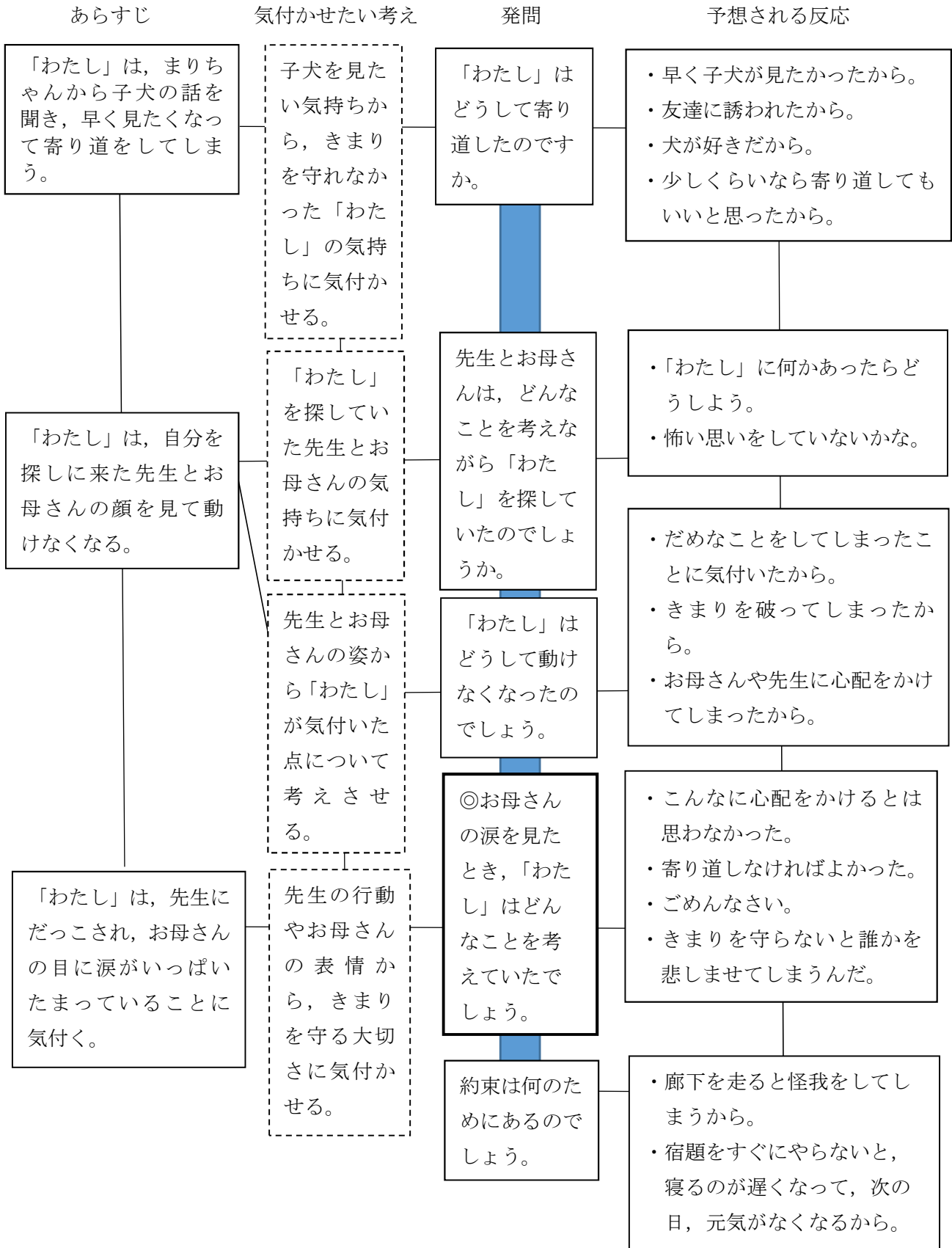
児童の学習状況を見取るために、座席表とワークシートを活用する。1年生の発達段階では、文章で自分の思いを伝えるのが難しい児童も多い。そこで評価場面における児童の反応を予想し、記号化しておくことで、児童の発言や反応からも見取ることができるようにする。また、児童一人一人が授業を振り返って、どのようなことが大切だと考えたのか見取るために、終末の段階でワークシートに書く活動を取り入れる。

4 教材分析・発問構成 . . . 別紙

5 学習指導過程 . . . 別紙

6 他の教育活動との関連 . . . 別紙

(別紙) 4 教材分析・発問構成



(別紙) 5 学習指導過程

	学習活動	○主な発問(◎中心的な発問) ●補助発問 ・児童の反応	指導上の留意点
導入 5分	<p>1 本時のねらいとする道徳的価値について問題意識を持つ。(一斉)</p> <p>2 課題をつかむ。(一斉)</p>	<p>○学校やおうちには、どんな約束やきまりがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下を走らない。 ・学校から帰ったらすぐ宿題をする。 <p>○学校やおうちの人との約束で守れなかったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急いでいて、廊下を走ってしまった。 ・遊んでいて宿題をやらずに怒られてしまった。 	<p>好きなことに夢中になって約束やきまりを破りそうになる人間の弱さを自分事として捉えさせることで、問題意識を持たせる。(問)(自)</p> <p>・約束やきまりを守れなくなる気持ちに共感させる。</p>
展開 30分	<p>3 範読を聞き、話の内容を理解する。(一斉)</p> <p>4 子犬を見たい気持ちから、きまりを守れなかった「わたし」の気持ちに気付く。(一斉)</p> <p>5 「わたし」を探していた先生とお母さんの気持ちに気付く。(一斉)</p>	<p>○「わたし」はどうして寄り道したのですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く子犬が見たかったから。 ・友達に誘われたから。 ・犬が好きだから。 ・少しくらいなら寄り道してもいいと思ったから。 <p>○先生とお母さんは、どんなことを考えながら「わたし」を探していたのでしょうか。</p>	<p>・範読の前に、登場人物について簡単に押さえ、内容を理解しやすくする。</p> <p>・「寄り道」の意味と、寄り道をしないことは学校の約束であることを押さえる。</p> <p>・範読後に「わたし」は、寄り道はしてはいけないことだと分かっていたことを押さえる。</p> <p>導入を想起させ、「わたし」が寄り道した気持ちを、自分事として考えさせる。(自)</p> <p>「わたし」を探していた先生とお母さんの気持ちを考えさせる。(多)</p>

<p>展開 30分</p>	<p>6 先生とお母さんの姿から、「わたし」が気付いた点について考える。 (一斉)</p> <p>7 先生の行動やお母さんの表情から、きまりを守る大切さに気付く。 (一斉)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」に何かあったらどうしよう。 ・怖い思いをしていないかな。 <p>○「わたし」はどうして動けなくなったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だめなことをしてしまったことに気付いたから。 ・きまりを破ってしまったから。 ・もしかしたら自分が危ない目にあっていたかもしれないことに気付いたから。 ・お母さんや先生に心配をかけてしまったから。 <p>◎お母さんの涙を見たとき、「わたし」はどんなことを考えていたでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなに心配をかけるとは思わなかった。 ・寄り道しなければよかった。 ・ごめんなさい。 ・きまりを守らないと誰かを悲しませてしまうんだ。 ・もう、絶対寄り道しない。 <p>●お母さんは、どんなことが心配だったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」が危ない目にあっていないかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたし」のことを大切に思う先生とお母さんの気持ちに気付かせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><評価> 先生とお母さんの気持ちから、約束やきまりを守ることの大切さを考えようとしていたか。 (多)【話し合い・発言・観察】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>先生とお母さんの姿から「わたし」が気付いた点「きまりを守らなかったこと」「安全ではない行動をしたこと」「心配をかけてしまったこと」など、複数の価値から考えさせる。 (多)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目に涙が溜まったお母さんの絵を見せることで、「わたし」に自分を重ねて考えさせる。 (自)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><評価> 「わたし」を自分に置き換えて、約束やきまりは何のためにあるのかについて考えようとしていたか。 (自)【話し合い・発言・観察】</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりを守ることで、みんなが安心して過ごすことができることに気付かせるための補助発問を用意する。
-------------------	--	---	---

	<p>8 約束やきまりを守ることの大切さを,日常生活を振り返って考える。(一斉)</p>	<p>○約束は何のためにあるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廊下を走ると怪我をしまうから。 ・宿題をすぐにやらないと,寝るのが遅くなって,次の日,元気がなくなるから。 <p>●約束を守れなかったら家族や先生からどんなことを言われますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・だめだよって叱られる。 <p>●家族や先生はどうして叱るのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくが怪我をしたら悲しいから。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>導入で出した身近な約束やきまりを振り返り,何のためにあるのか一つ一つ具体的に考えさせる。(自)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが約束やきまりを守ってきた良さを再確認させ,これからも守っていこうという意欲を持たせる。 ・約束やきまりを守れなかったとき,お母さんや先生が指導する理由を考えさせるための補助発問を用意する。
<p>終 末 10 分</p>	<p>9 自己の生き方について考える。(個人)</p>	<p>○今日の授業を通して約束について考えたことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約束はみんなが安心するためにあることが分かりました。これからもちゃんと守りたいです。 ・約束を守れないこともあったけれど,お母さんを悲しませないためにも,がんばって守りたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・約束やきまりは何のためにあるのかについて本時で考えたことを振り返らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>約束やきまりは何のためにあるのかについて書かせることで,自分の生活を振り返り,自己の生き方について考えを深めさせる。(生)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><評価> 約束やきまりは何のためにあるのかについて,自分との関わりで考えようとしていたか。 (自) 【ワークシート】</p> </div>

【評価】

＜児童の評価＞

- ・先生とお母さんの気持ちから、約束やきまりを守ることの大切さを考えようとしていたか。

(多) 【話し合い・発言】

- ・約束やきまりは何のためにあるのかについて、自分との関わりで考えようとしていたか。

(自) 【ワークシート】

＜教師側の授業評価＞

- ・先生とお母さんの気持ちから、約束やきまりを守ることの大切さを考えさせることができたか。

(多) 【話し合い・発言・観察】

- ・発問や補助発問を通して、約束やきまりは何のためにあるのかについて自分との関わりで考えさせることができたか。

(自) 【話し合い・発言・観察】

【板書】

みんながきもちよく。
あんぜん。
しんぱいをかけない。

お母さんの挿絵

なみだがいっぱい

うごけない

「わたし」の挿絵

「わたし」が子犬を見ている挿絵

〇月〇日「よりみち」
やくそくははらない。
かえったらすぐにしゅくだいをする。

やくそくをまもることについて
かんがえよう。

よりみち

「わたし」をさがす
せんせいとおかあさん
なにかあったら
どうしよう。
こわいめにあっ
ていないかな。

だめなことしちゃった。
しんぱいかけちゃった。

こいぬみたいだな。
すこしくらいなら
だいじょうぶ。

ごめんなさい。
よりみちしなければ
よかった。

【準備物】

教師：教科書，人物絵，ワークシート

児童：教科書，筆記用具

(別紙) 6 他の教育活動との関連

